

松山大
「応援隊」
優秀賞

全国農協観光協会（東京）が農山漁村地域を元気にする大学生らの取り組みをたたえる「学生地域づくり・交流大賞」で、愛南町特産の養殖マダイの消費拡大に取り組み松山大の愛南マダイ応援隊が、大賞に次ぐ優秀賞を受賞した。インターネットを駆使してマダイの販売促進につなげた活動が評価された。



愛南マダイ応援隊の活動を発表し、優秀賞を受賞した徳弘さん(左)と田頭さん

SNSで販売促進 活動評価

応援隊は2020年6月に学生有志で発足し、現在16人が活動している。今年1月14日に東京で開かれた最終審査には、プロジェクトリーダーの経営学部4年田頭梨奈さん(22)と2年徳弘あやさん(20)が登壇した。

2人は新型コロナウイルスの影響から飲食店のなどでマダイの消費が落ち込む中、一般消費者に直接販売する取り組みを発表。高校生や主婦、サラリーマンといったターゲット別に交流サイト(SNS)を使い分けてマダイや加工品の魅力を発信した成果を披露した。大賞1組と優秀賞3組

「学生地域づくり・交流大賞」には10大学から応募があった。審査を通過した5大賞1組と優秀賞3組、特別賞1組が選ば

り返し足を運び、生産された。(杉本賢司)



「学生地域づくり・交流大賞」の最終審査で、活動の成果を発表する愛南マダイ応援隊の徳弘さん(左)と田頭さん(松山大提供)